

活動テーマ

Think Globally, Act Locally

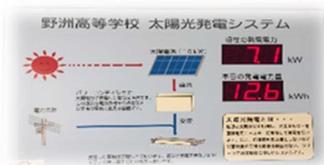
世界の状況、日本の状況を考えて、野洲市と行動する！

もともと地元の農業高校であった野洲高校。
近年では、サッカー部を中心とした部活動の活躍や立地条件などにより、全県からの生徒が集まる学校になりつつあります。
それでも、共に歩み、活動の拠点となるのは地元野洲市です。
お世話になっている野洲市を、大きな視点からとらえるよう意識し、エコを中心としてどのように協働できるかを探っていきます。

action 1 学校環境レベル

野洲高校のすべての生徒・教職員が、世界と地域の自然環境、社会環境、生活環境を意識し考えることのできる学校環境を提供します。

(1) 太陽光発電システムの運用



新館屋上に設置されており、玄関に設置されているパネルで発電量を確認することができます。
1日あたりの発電量は約40kWhです。

(2) 琵琶湖森林づくり県民税を利用した「木の学習机等木製品利用促進事業」の活用



「びわ湖材」(滋賀県内の森林から伐採された原木と、その原木を滋賀県内で加工した製材品等の木材)の活用事業に積極的に取り組んでいます。美術室の机、校内案内掲示板、みざら等が「びわ湖材」によるものです。
今年度新たに、図書室展示棚も活用しています。

(3) 校内施設の節電化

教室・廊下等電灯のLED化を進めています。

action 2 生徒活動レベル

生徒会を中心に、生徒が主体的に環境保全活動や環境学習に取り組んでいます。

(1) 地域自治会協働一斉清掃活動

毎年11月に、野洲駅周辺から野洲高校までのゴミ拾い・清掃活動を行っています。



平成29年度は、「東京2020オリンピック・パラリンピック教育事業」のひとつとして実施し、生徒会執行部や各部活動の生徒を中心に160名以上の生徒が参加しました。



(2) エコキャップ運動

(ペットボトルキャップ回収)

回収されたペットボトルキャップは回収業者にリサイクル資源として売却され、その利益を使って発展途上国の子どものもとへワクチンが届けられます。

学校名	滋賀県立野洲高等学校
住所	野洲市行畑二丁目9-1
電話番号	077-587-0059
E-mail	yasu-h@pref-shiga.ed.jp